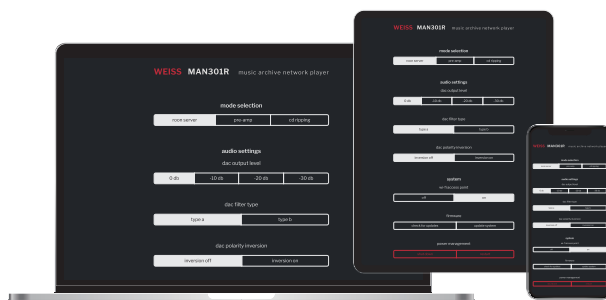


MAN 301 R

music archive network player
CD Ripper, Preamp and More

OPERATING MANUAL

MAN 301 R 取扱説明書



Issue : December 2024 日本語版 Ver.1



安全上のご注意

このたびはWEISS社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。ご使用になる前にこの「安全上のご注意」を良くお読みになり、正しくご使用ください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡や大ケガのなどを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

〈電源・電圧について〉

- ・ 交流100ボルト以外の電圧を使用しないでください。
- ・ この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などでの使用はしないでください。船舶の直流(DC)電源などには接続しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 電源プラグにほこりをためないでください。

〈異常発生・故障の場合の対応について〉

- ・ 煙が出たり、変なおいや音がするとき、機器の内部に異常がある場合や水などが入ったとき、この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに次の手順で処置してください。

1. すぐに機器本体の電源スイッチを切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. 販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください

〈ご自身での分解・改造・修理はしないでください〉

- ・ この機器のカバーは絶対にはずさないでください。
- ・ お客様自身による修理は絶対に行わないでください。保証の対象外になるばかりでなく、本機内部には高い電圧が流れているため危険であり、多くの精密なアッセンブリを傷めるおそれがあります。

⚠ 注意

〈設置場所・設置方法〉

- ・ 機器の上には何も置かないでください、花瓶や水などが入った容器も置かないでください。
 - ・ この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。
 - ・ ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。
-

製品保証に関して

日本国内における本機の製品保証については、以下の規定が適用されます。

保証期間

- 本機に用いられている材料や生産工程には十分な品質管理が施されていることを保証いたします。**製品の保証期間は購入日から1年間**です。この保証は購入日から1ヶ月以内に同梱の保証登録カードをAZ・AUDIOにご返送いただいた場合にのみ適用されます(※保証登録カードは保証書ではありません。必ずご購入日より1ヶ月以内にご返送ください。保証書をお送りいたします)。
- 製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。なお、本機に接続された機器に対して付随的に発生した故障やその修理費用については、本保証では一切適用されません。
※この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に優先します。

免責事項

- 取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、天災による損傷、輸送中の事故や不注意、AZ・AUDIO以外で修理や変更が加えられた製品に対しては、この保証は適用されません。

製品修理に関して

- 製品の故障が上記保証内容と条件に合致している場合には、部品代や技術料はAZ・AUDIOが負担いたします。
- 製品をご返送される際は、お買い求めの際に使われていた梱包材をご使用になり、元箱に入れてください。これが保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件となります。なおご購入の販売店、またはAZ・AUDIOに製品を返送される際、梱包・配送費用はお客様のご負担となります。

付属品について

- 以下の付属品をご確認ください。付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社にご連絡ください。
 - ・ 本体
 - ・ 電源ケーブル
 - ・ 取扱説明書(ダウンロード版)
 - ・ 保証登録カード

修理/お問い合わせについて

- **AZ・AUDIO** 住所 〒465-0013 名古屋市名東区社口1-202-219 電話 052-777-4210
定休日/毎週 水・木曜 受付時間/10:00～17:00
WEBからのお問い合わせ… <http://www.az-audio.jp>

目次

はじめに	5
特徴	5
主な仕様	5
■WEBインターフェース	5
■3つの操作モード	6
セットアップ	6
開梱とMAN301Rのセットアップ	6
1. 各種ケーブルの接続	6
2. 主電源のオン/オフ	7
2. Wi-Fiの接続	8
操作方法	9
ユーザー・インターフェース	9
1. Webインターフェースへのアクセス	9
2. Webインターフェースの概略	10
3. モード間の切り替え	10
1・Roonサーバーモード	11
2・プリアンプモード	11
3・CDリップングモード	12
4. オーディオ・セッティング	15
1・DAC出力レベル選択	15
2・DACフィルタータイプ選択	15
3・DAC極性反転	15
5. システム設定	15
1・WiFiアクセスモードの管理 (on / off)	16
2・WiFiアクセスポイントのパスワードの変更	16
3・ユニットのシャットダウン / 再起動	16
技術データ	17

はじめに

特 徴

2012年にMAN301はユニックスPCベースの ミュージック・アーカイブ・ネットワーク・プレーヤーとして世に産まれました。CDリッピング、CD再生、オーディオ・ファイルのネットワーク再生、インターネット・ラジオ・ストリーミング、メタデータ編集などを1台で行なうことが出来る、文字通りのAii in oneプレーヤーとして、現在に至るまで非常に価値のあるデバイスとして人気を博しています。

しかしこの10数年のあいだに、高品質の音楽ソースのストリーミングがローカル・ファイルの再生に取って代わりました。こういった時代背景を踏まえ、Weiss Engineering では Roon プラットフォームを MAN301 に統合し、ストリーミング再生を柱に「再構成」することにしました。その結果、MAN301は Roon ベースのミュージック・ストリーマー/ライブラリ・マネージャー「MAN 301 R」に生まれ変わりました。

主な仕様

■WEBインターフェース

MAN301RはWEBインターフェースを用い、以下のツールで操作します。

- Mac・Windows などのパーソナル・コンピュータ
- iPad などのタブレット
- iPhone などのスマートフォン



メイン画面では以下の3つの操作モードの切り替え、アナログ出力レベルの調整等のオーディオ設定、Wi-Fi接続設定、ファームウェアの更新、電源シャットダウンや再起動を行ないます。

※Webインターフェースの接続方法について…… [P-9参照](#)

■3つの操作モード

MAN301Rは使用目的により3つのモードに切り替えて使用します。

- Roon サーバー モード → 音楽再生全般に使用します……[P-9参照](#)
- プリアンプ モード → Roon はオフになりデジタル入力全般をコントロールします……[P-9参照](#)
- CDリッピング モード → CD リッピング モードではRoon がオフになり、MAN301R を使用して内蔵 CD ドライブから外部 USB ストレージ デバイスに CD をリッピングします……[P-10参照](#)

セ ッ ト ア ッ プ

開梱と MAN 301 R のセットアップ

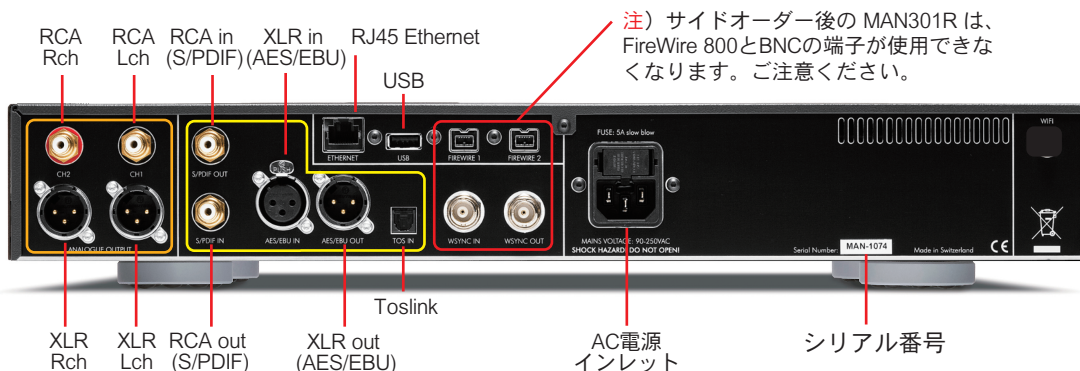
注意深く開梱して、下記の物が含まれている事を確認してください。

- ・ MAN 301 R ユニット (本体)
- ・ 取扱い説明マニュアル (本書・ダウンロード版)
- ・ 電源ケーブル
- ・ 保証登録カード

1. 各種ケーブルの接続

MAN301Rには以下の接続端子があります。電源をつなぐ前に必要に応じ以下の端子にケーブルをつないでください。

- XLR (AES / EBU) ×1・RCA (S/PDIF) ×1・TOSLINK (光ソケット) ×1…デジタル入力用
- XLR (AES / EBU) ×1・RCA (S/PDIF) ×1…デジタル出力用
- XLR ×1系統・RCA (S/PDIF) ×1系統…アナログ出力用
- USB (Aタイプソケット) ×1…リップングデータ収納用外部ストレージ用
- RJ45 Ethernet (LAN) ×1…WEBインターフェイス、Roonの接続用
- AC電源インレット



RJ45 Ethernet (LAN) :

- MAN301R はWEBインターフェイスを使用しますので、必ずご利用環境のイーサネット・ルータに接続してください。

USB 2.0 :

- USB 2.0 コネクタはCDをリップングしたデータを収納するハードディスク (HDD) や、ソリッドステートディスク (SSD) などの音楽ストレージ デバイスの接続に使用します。サポートされているファイル システムは、FAT32、exFAT、NTFS、ext2/3/4 です。

デジタル入力：

- XLR、S/PDIF2系統の192kHz/24 ビット デジタル オーディオとTOSLINKによる96kHz/24 ビットをサポートします。同時に入力して再生できるデジタル入力は1系統だけです。

デジタル出力：

- XLR、S/PDIFの2系統で、同時に同じ音源を出力することができます。

アナログ出力：（DACバージョンの場合）

- RCA 出力と XLR 出力 の2系統があり、デジタル出力と同様に同時に同じ音源を出力することができます。

※ヘッドフォン再生

RCA または XLR コネクタは、アダプター ケーブル（別売り）を介してヘッドフォンを駆動することができます。ケーブルにはご使用のヘッドフォンの仕様に対応するよう以下の2種類が用意されています。

- RCA接続…CHIRON-adapter1 dual RCA to 6.3mm
- XLR接続…CHIRON-adapter2 dual XLR to 4pins。
（詳しくは販売店にお問い合わせください）

**電源ケーブルの接続：**

- 電源ケーブルを接続します。主電源電圧はMAN301Rによって自動的に検出され、100V～240Vの主電源電圧が許容されます。

2. 主電源のオン／オフ

- MAN301R の電源を入れるには、フロントパネル左端のスイッチを押すとスイッチ上のLEDが青色に点灯します。約1分ほど後にMAN301R が起動し、Web インターフェースからアクセスできる状態になります。



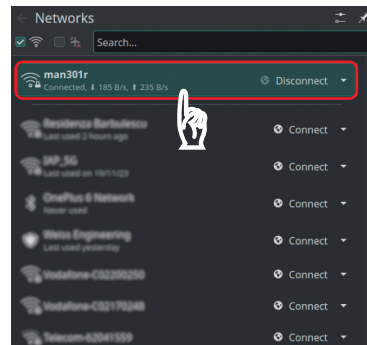
- フロントパネルからスイッチを押してオフにすると、LEDが緑色に変わり、MAN301R がシャットダウンするまで点滅し始めます。緑色のLEDの点滅が5分以上止まらない場合は、LEDが消えるまで電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ることができます。

※Web インターフェースからもシャットダウンできます……P-16参照

3. Wi-Fi への接続

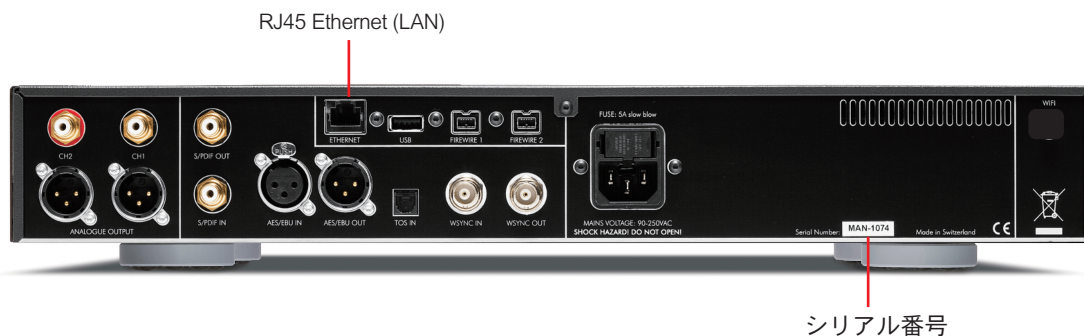
-必要なすべての機器を各種ケーブルでMAN301Rに接続した後、MAN301Rの電源を入れます、起動するまで**約1分間**待ちます。

-Web インターフェースにアクセスするには、携帯電話／タブレット／コンピュータが自分のローカル WiFi に接続されていることを確認してください。



-WiFi ネットワークの名前は「man301r-XXXX」です。XXXX はユニットの背面に印刷されているシリアル番号です。デフォルトのパスワードは「WeissMAN301R」です。

注1：このパスワードはMAN301Rをご使用時には変更されることをお勧めします。変更方法はP-16をご参照ください。



注2：MAN301RはイーサネットルータにLANケーブルで接続する必要があります。ルータがない環境ではMAN301RはWiFi ネットワークに接続できません。

操作方法

ユーザー・インターフェース

MAN301R は、スマートフォン、タブレット、パーソナル・コンピュータ用に最適化された Web インターフェイスを通じて操作されます。



1. Web インターフェイスへのアクセス

前提条件：

Web インターフェイスを操作するには、次の要件を満たすデバイスまたはブラウザが必要です。

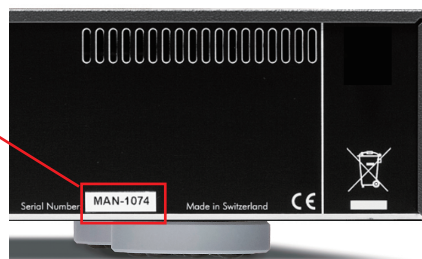
ブラウザ/デバイス	最小バージョン
Google Chrome	60
Firefox	60
Firefox ESR	最小バージョンなし
iOS	12
Safari	12

Webインターフェイスへの接続：

- MAN301R はWebインターフェイスを使用しますので、必ずご利用環境のイーサネット・ルータに接続してください。

接続方法：

- ①…MAN301Rのシリアル番号を調べる
本体の背面に書いてあります。
- ②…ブラウザに次のリンクを入力する
「man301r-XXXX.local」
XXXX は 4桁のシリアル番号です。
右に示したユニットの場合リンクは「man301r-1074.local」のようになります。



- ③…Webインターフェイス画面に切り替わる

2. Web インターフェースの概略

Web インターフェース は以下の図で分るとおり。大きく 3 つのセクションから構成されています。

Webインターフェース・トップ画面



モード・セレクタ : 当ページ・下段 参照

- Roonサーバ・プリアンプ・CDリッピングの3つのモードを切り替えます。

オーディオ・セッティング : P15参照

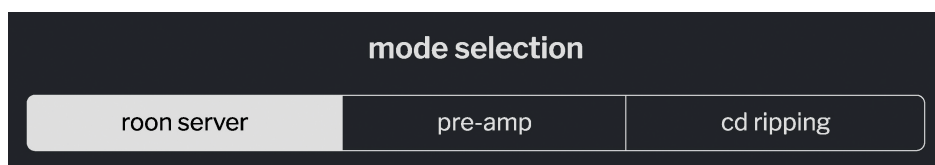
- 出力レベル・フィルタータイプ・極性を設定します。

システム設定 : P15参照

- Wi-Fiアクセスポイント・ファームウェア・電源を管理します。

3. モード間の切り替え

Web インターフェース の一番上のセクションでは「roon サーバ」モード、「プリアンプ」モード、「CD リッピング」モードの3つのモードのいずれかをタッチして選択し、切り替えて使用します。

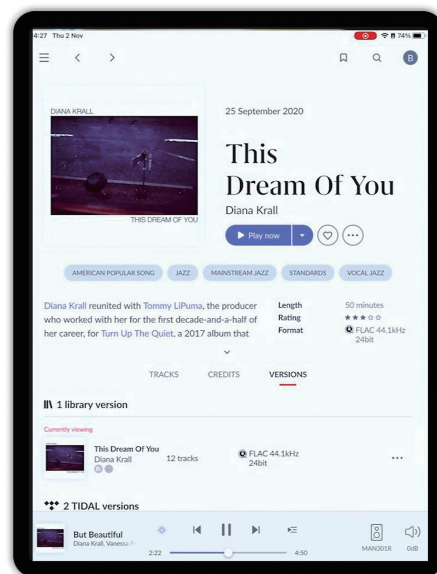


1・Roonサーバモード：

Roon は、ローカルのストレージデバイスに収納された音楽ライブラリ、Tidal、Qobuz、KKBOXなど音楽ストリーミング・サービス、および Web ラジオをコントロール/再生するためのソフトウェアです。

MAN301Rはサーバ機能とライブラリ管理を行なう「Roon Core」機器ですので、Roon専用ソフトウェアがインストールされた Mac や Windows 機器を必要としません。

「roonサーバ」モードを選択すると MAN301R は Roon アプリがインストールされている同じネットワーク内のデバイスのホストとして機能し全ての音楽ファイルを再生します。



※ Roonの利用には毎月（サブスクリプションの課金）、または1回限りの購入が必要です。

Roonの操作方法や課金方法などの詳細については、RoonのWebサイト <https://roon.app/ja/> をご覧ください。

2・プリアンプモード：

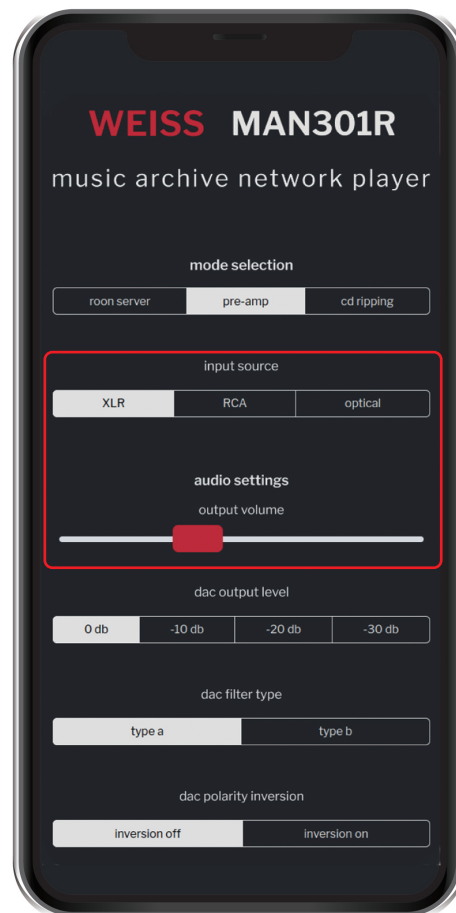
「プリアンプモード」を選択すると、RoonはオフになりMAN301R はデジタル入力のプリアンプとして機能します。

サポートされているクロックレートは44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz、サポートされるワード長は 16 ビットから最大 24 ビットで、選択した入力ソースからのクロックを自動的にロックします。

主な機能は3系統の入力（XLR・RCA・Toslink）切り替えとボリューム・コントロールです。その設定はデジタル出力とアナログ出力の両方に作用します。

ボリュームコントロールが最大（右側）に設定されている場合、デジタル出力はビットトランスペアレントになります。

またこの画面からも Web インターフェイスの「オーディオ・セッティング」（P-15参照）の3つのオーディオ設定を自由に使用できます。

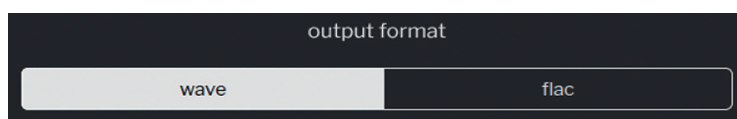


3・CDリッピングモード：

CD リッピング モードでは、Roon がオフになり、MAN301R を使用して内蔵 CD ドライブから外部 USB ストレージ デバイスに CD をリッピングできるようになります。

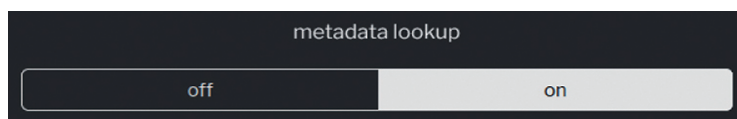
CDリッピングには、出力データ形式の選択とメタデータ検索 の 2 つの設定があります。リッピングの前にこの 2 つの設定をしておきます。

設定 1…出力フォーマットの決定



使用可能な形式は「wave」と「flac」です。「wave」を選択すると、リッピング後もデータは元のままですが、「flac」を選択するとすべてのトラックが FLAC に圧縮されます。FLAC は、WAV と比較して通常 40% ~ 50% の圧縮率を達成するロスレス・オーディオ形式です。解凍の結果はビットパーフェクトですので「flac」でのご使用をおすすめします。

設定 2…メタデータのルックアップ



メタデータの取得には「on」と「off」の2種類があります。

1) 「off」の場合

メタデータ ルックアップが「off」に設定されている場合、リッピングされた各データにタイトルや曲名・アーティスト名は付けられず、機械的に次のルールで名前が付けられたフォルダに配置されます。

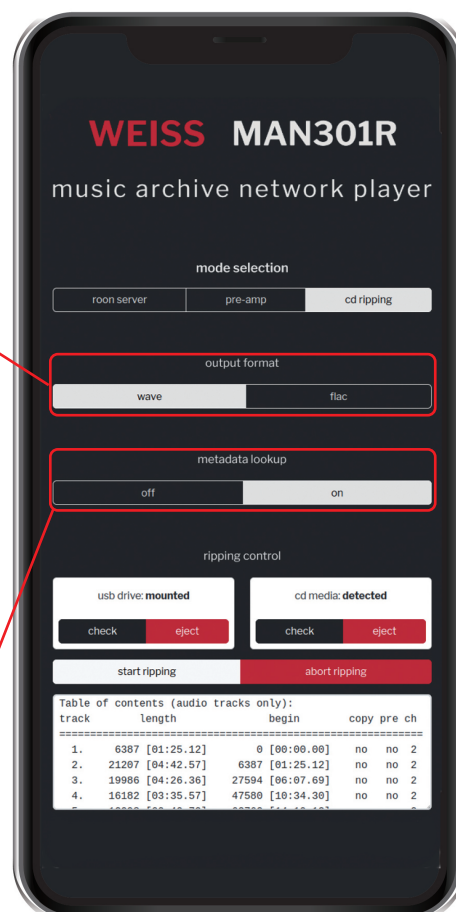
CD-RIP-YYYY.MM.DD-HH.MM

ここで、YYYY、MM、DD は現在の年、月、日であり、HH と MM は現在の時間と分です。フォルダ内の各トラックは、次のルールで名前が付けられます。

track01.cdda.wav…track02.cdda.wav…track03.cdda.wav……

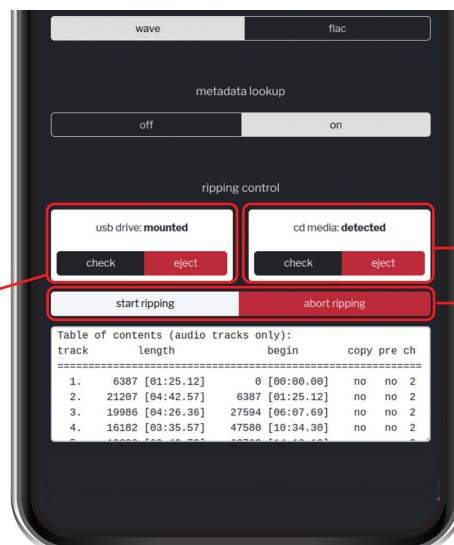
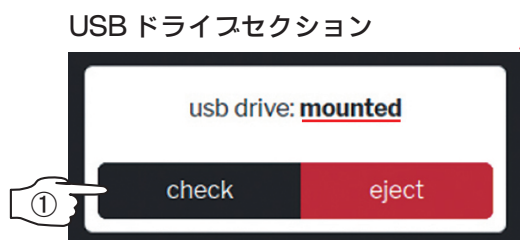
2) 「on」の場合

メタデータルックアップが「on」に設定されている場合は、アーティスト、リリース、トラック名に基づいて、自動的にネット検索してフォルダとトラックに名前がつけられます。したがってリッピングする際には、通常「on」にしてご使用ください。

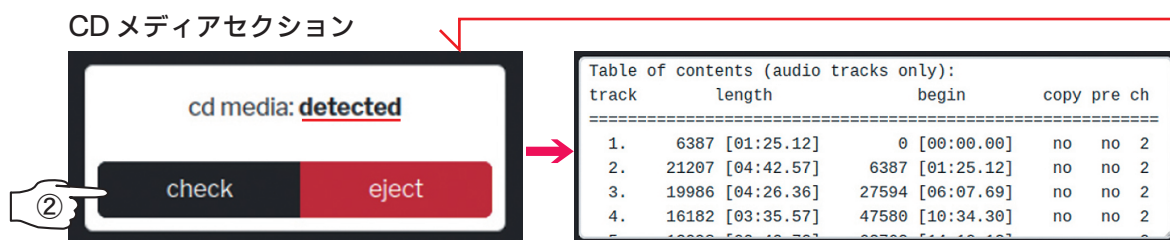


CD をリッピングするには、次の手順に従って行います。

- ①…USB ストレージデバイスを接続し、USB ドライブセクションの「チェック」ボタンをタップします。デバイスが正しく認識されると、ステータスが「not detected (未検出)」から「mounted (マウント済み)」に変わります。



- ②…CD を CD ドライブに挿入します。ディスクが正しく認識されると、ステータスが「not detected (未検出)」から「detected (検出済み)」に変わり、下のステータスウィンドウにトラックリストが表示されます。



注) CD ドライブがディスクにアクセスするのに時間がかかる場合があります。ディスクがすぐに認識されない場合は、数秒待ってからもう一度「チェック」をタップしてください。

- ③…「start ripping (リッピング開始)」ボタンをタップしてリッピングプロセスを開始します。



中止したい場合は「abort ripping (リッピング中止)」ボタンをタップしてください。これによりリッピングは停止しますが、ディスクは取り出されません。ディスクを取り出すには、上の CD メディアセクションの「eject (取り出し)」ボタンをタップします。

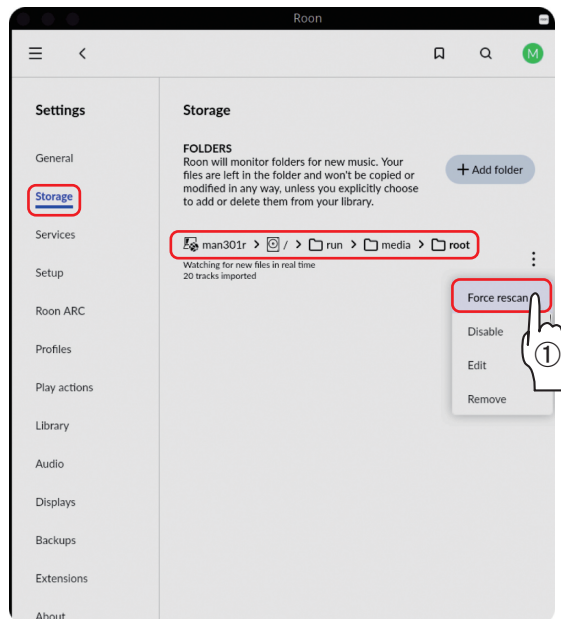
注：メタデータ検索ができなかった場合

メタデータ ルックアップによる検索ができなかった場合には「Roon メタデータ ルックアップ」で検索し直します。「Roon メタデータ ルックアップ」は次ページの手順に従って行います。

①… Roon デスクトップ アプリ（macOS および Windows で利用可能）をインストールします。

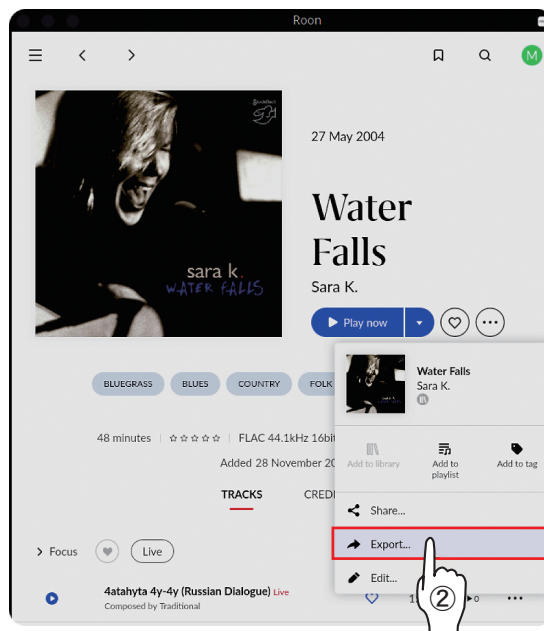
※ Roonの詳細については、RoonのWebサイト<https://roon.app/ja/> をご覧ください。

②…USB ドライブが Roon ライブラリに追加されていることを確認します。



③…エクスポート機能を使用して、リッピングした CDのデータを好きな場所に保存します。この一連の作業により Roon は Roon データベース内を検索します。

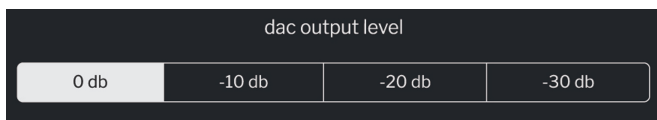
一致するデータが見つかった場合、エクスポートされたリリースの名前が変更され、メタデータが各トラックに挿入されます。



4. オーディオ・セッティング

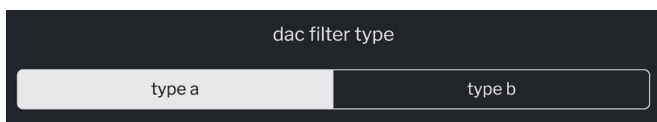
Web インターフェース の中央のセクションには 3 つのオーディオ設定があります。

1・DAC 出力レベル選択



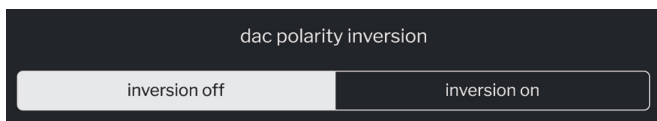
接続するアンプに応じて出力レベルを0db～-30dbまで10 db ステップで4段階で設定できます。

2・DAC フィルタータイプ選択



DACのフィルターをA/Bの二種類から選べます。

3・DAC 極性反転



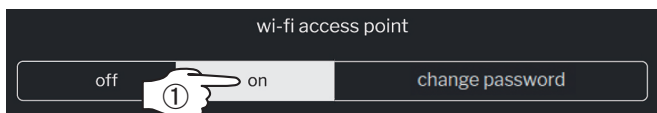
DACの極性反転をOn/Offできます。



5. システム設定

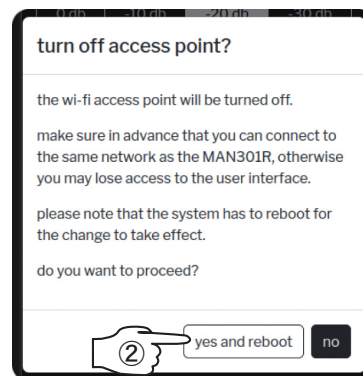
Web インターフェース の下部には、次のことを実行できるセクションがあります。

1・WiFiアクセスポイントの管理 (on / off)

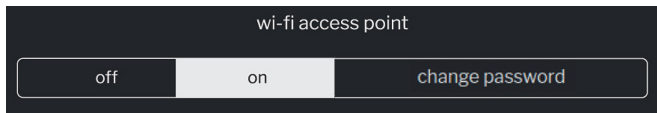


WiFi アクセス ポイントは「on」がデフォルトです (①)。通常は「on」の状態でお使いください。

アクセスポイントをオフにしたい場合は「off」を選択してください。この操作にはシステムの再起動が必要なため、ユーザー インターフェイスで確認を求められます (②)。再起動は次ページの電源管理項目で行ないます。「on」に戻るときも同様です。

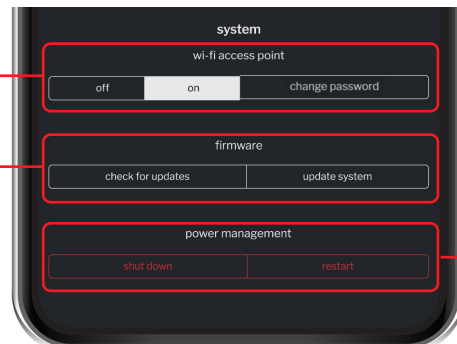


2・WiFiアクセスポイントのパスワードの変更



WiFiアクセスポイントのパスワードを変更する場合には「change password」ボタンをタップします。

注：MAN301Rの仕様に際しては、出荷時のデフォルト設定のアクセスポイントのパスワードを変更することを強くお勧めします。

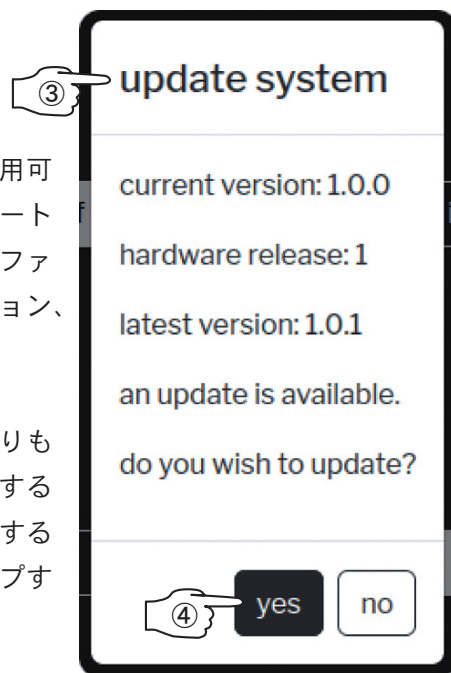


3・MAN301R ファームウェアのアップデート

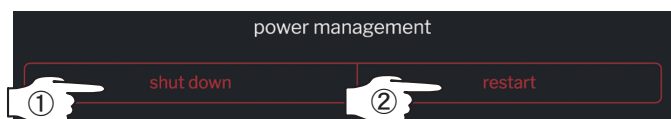


新しいファームウェアのアップデート・バージョンが利用可能かどうかを確認する場合は「check for update（アップデートの確認）」（①）を選択します。インストールされているファームウェアのバージョン、最新のファームウェアのバージョン、およびハードウェアのリリース番号が表示されます。

最新のファームウェアがインストールされているものよりも新しい場合は、更新することができます。システムを更新する場合は「update system（システムの更新）」（②）を選択すると右のウィンドウ（③）が表示され、「yes」（④）をタップすると更新が始まります。

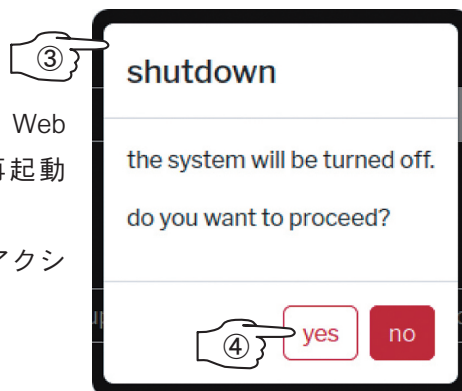


4・ユニットのシャットダウン / 再起動



MAN301Rは本体・前面の電源ボタンを使用する以外に、Webインターフェイスからシャットダウン（①）および再起動（②）できます。

ボタンをタップすると右の確認画面（③）が出ます。アクションを完了するには確認（④）が必要になります。



技術データ

デジタル入力：

- XLR端子 (AES / EBU) ×1, RCA端子 (S / PDIF) ×1, Toslink端子 (オプティカル) ×1, USB 端子 (Bタイプ) ×1, RJ45 Ethernet端子 (LAN) ×1
- 全ての入力は、AES/EBUあるいはS/PDIF信号のようなプロフェッショナル、またはコンシューマー規格に対応しています
- サンプリング周波数：44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz (ただしToslink は最大96 kHz)
- 最大入力ワードレングス対応：24bit

デジタル出力：

- XLR端子×1, RCA端子×1, USB 2.0端子 (Bタイプ) ×1
- XLR 端子とRCA 端子ではプロフェッショナル・チャンネル・ステータス規格対応

アナログ・メイン出力：(DACバージョン)

- XLR コネクタ×1 (2番ホット) DC 構成、短絡保護出力回路付き、出力インピーダンス 44 オーム
 - RCA コネクタ×1 DC構成、短絡保護回路付き、出力インピーダンス 22 オーム
- ※出力レベルはWeb インターフェイスから下記の通り 4 段階にセット可能

・ XLR出力レベル

7.5 Vrms, +19.7 dBu, 0 dBFS 正弦波入力時 / 2.3 Vrms, +9.7 dBu, 0 dBFS 正弦波入力時
0.75 Vrms, -0.3 dBu, 0 dBFS 正弦波入力時 / 0.23 Vrms, -10.3 dBu, 0 dBFS 正弦波入力時
(全てのフェーダー/ゲイントリムが最大に設定されている場合)

・ RCA出力レベル

3.75 Vrms, +13.7dBu, 0 dBFS 正弦波入力時 / 1.15 Vrms, +3.7dBu, 0 dBFS 正弦波入力時
0.375 Vrms, -6.3dBu, 0 dBFS 正弦波入力時 / 0.115 Vrms, -16.3dBu, 0 dBFS 正弦波入力時
(全てのフェーダー/ゲイントリムが最大に設定されている場合)

— サポートされているファイル形式:

WAV 44.1 ~ 192 kHz、8 ~ 24 ビット、float、double
AIFF 44.1 ~ 192 kHz、8 ~ 24 ビット、float、double
M4a/ALAC 44.1 ~ 192 kHz、16 ~ 24 ビット
M4a/AAC 44.1 ~ 96kHz
FLAC 44.1 ~ 192 kHz、16 ~ 24 ビット

クロック同期：

- 入力信号または内部発振器を介して同期されます。
サンプリング周波数：44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz。
- BNC コネクタの外部クロック入力はサポートされていません。

測定値 (内蔵DAC装備の場合) :

下記測定値は、特に断りなければ、以下の条件下での測定。

- ・測定周波数 1 kHz
- ・選択可能な最大出力レベル
- ・サンプリング周波数 192kHz (Fs)
- ・測定帯域幅 22kHz
- ・ウエイト無し
- ・0 dB は0 dB フルスケール入力時の出力に相当

周波数レスポンス :

- Fs=44.1kHz, Filter A, 0Hz-20kHz : +/-0.25dB以内
- Fs=44.1kHz, Filter B, 0Hz-20kHz : +/-1.3dB以内
- Fs = 88.2 kHz, Filter A, 0Hz-20kHz: +/- 0.25dB以内
- Fs = 88.2 kHz, Filter A, 0Hz-40kHz: +/- 0.8dB以内
- Fs = 88.2 kHz, Filter B, 0Hz-20kHz: +/- 0.25dB以内
- Fs = 88.2 kHz, Filter B, 0Hz-40kHz: +/- 1.5dB以内
- Fs = 176.4 kHz, Filter A, 0Hz-20kHz: +/- 0.25dB以内
- Fs = 176.4 kHz, Filter A, 0Hz-40kHz: +/- 0.8dB以内
- Fs = 176.4 kHz, Filter A, 0Hz-80kHz: +/- 2.5dB以内
- Fs = 176.4 kHz, Filter B, 0Hz-20kHz: +/- 0.25dB以内
- Fs = 176.4 kHz, Filter B, 0Hz-40kHz: +/- 0.8dB以内
- Fs = 176.4 kHz, Filter B, 0Hz-80kHz: +/- 3.5dB以内

全高調波歪みと雑音(THD+N) :

- 116 dBr (0.00016 %) -3 dBFS 入力レベルにおいて
- 125 dBr (0.000056 %) -40 dBFS 入力レベルにおいて
- 125 dBr (0.000056 %) -70 dBFS 入力レベルにおいて

リニアリティ (直線性) :

入力レベル 0 dBFS ~ -120 dBFS 時: 理想値からの乖離 ± 0.4 dB 以下

不要輻射成分 (高調波を含む) :

- 入力レベル 0 dBFS 時、最大出力レベル、1 kHz において全成分 -120 dB 以下
- 入力レベル 0 dBFS 時、最大出力レベル、4 kHz において全成分 -115 dB 以下

クロストーク :

120dB以上、20Hz ~ 20kHz

チャンネル間位相レスポンス :

$\pm 0.05^\circ$ (20 Hz - 20 kHz) $\pm 0.30^\circ$ (20 Hz - 80 kHz)

電源 :

- 主電源 : 100-240V 電圧は自動切り替え
- フューズ規格 : 4A スローブロー
- 消費電力 : 最大50W ・ 待機消費電力 : 最大0.5W

寸 法：

- 奥行き: 30 cm / 11.8インチ
- 幅 : 45cm / 17.7インチ
- 高さ: 6.6 センチメートル/2.6 インチ
- 足を含む高さ: 7.4 cm / 2.9 インチ

※記載されている機器の仕様・デザインに関しまして、技術改善等により事前に予告なく変更される場合がありますので、ご了承下さい。

お問い合わせ先**AZ・AUDIO** ■ワイス日本代表事務所■

Address : 〒465-0013 愛知県名古屋市名東区社口1-202-2-219
Phone : 052-777-4210 e-mail : ongaku@az-audio.jp
Web : <http://www.az-audio.jp>

Asia Weiss Limited

Address : Room 616, Star House ,3 Salsbury Road ,
Tsim Sha Tsui , Kowloon , Hong Kong.
Phone : +852-3563-9545
Fax : +852-3020-6095
Web : <http://www.asiaweiss.com>

**WEISS Engineering Ltd.**

Florastrasse 42 8610 Uster Switzerland
Phone : +4144940 20 06 Fax : +41449402214
Web : <http://www.weiss-high end.ch> <http://www.weiss.ch>